

箕面市立病院改革プラン 平成22年度実績

平成23年6月29日
改革プラン評価委員会

目 次

平成22年度決算の概要	1
経営効率化に係る計画の実績	5
再編・ネットワーク化に係る計画の実績	10
経営形態見直しに係る計画の実績	11

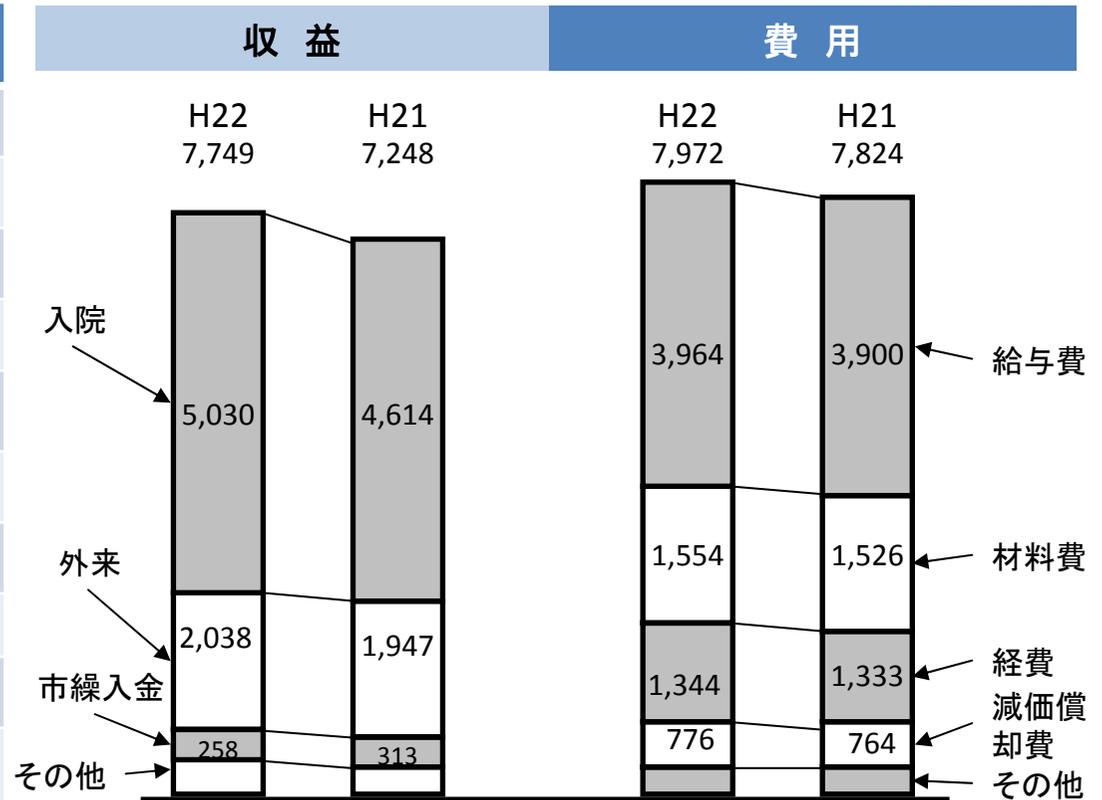
平成22年度決算の概要

1

(単位:千円)

(単位:百万円)

経営指標	H22	H21	差引	伸率 (%)
収益	7,748,863	7,248,175	500,688	6.9
入院収益	5,030,593	4,613,681	416,912	9.0
外来収益	2,038,005	1,946,612	91,393	4.7
市繰入金	258,071	313,437	△55,366	△17.7
その他	422,194	374,445	47,749	12.8
費用	7,972,382	7,824,279	148,103	1.9
給与費	3,964,398	3,899,741	64,657	1.7
材料費	1,553,970	1,525,932	28,038	1.8
経費	1,344,104	1,332,647	11,457	0.9
減価償却費	775,922	764,375	11,547	1.5
その他	333,988	301,584	32,404	10.7
総収支	△223,519	△576,104	352,585	—
経常収支	△252,214	△565,610	313,396	—
医業収支	△188,586	△531,288	342,702	—
繰入前収支	△481,590	△889,541	407,951	—



近隣病院の状況

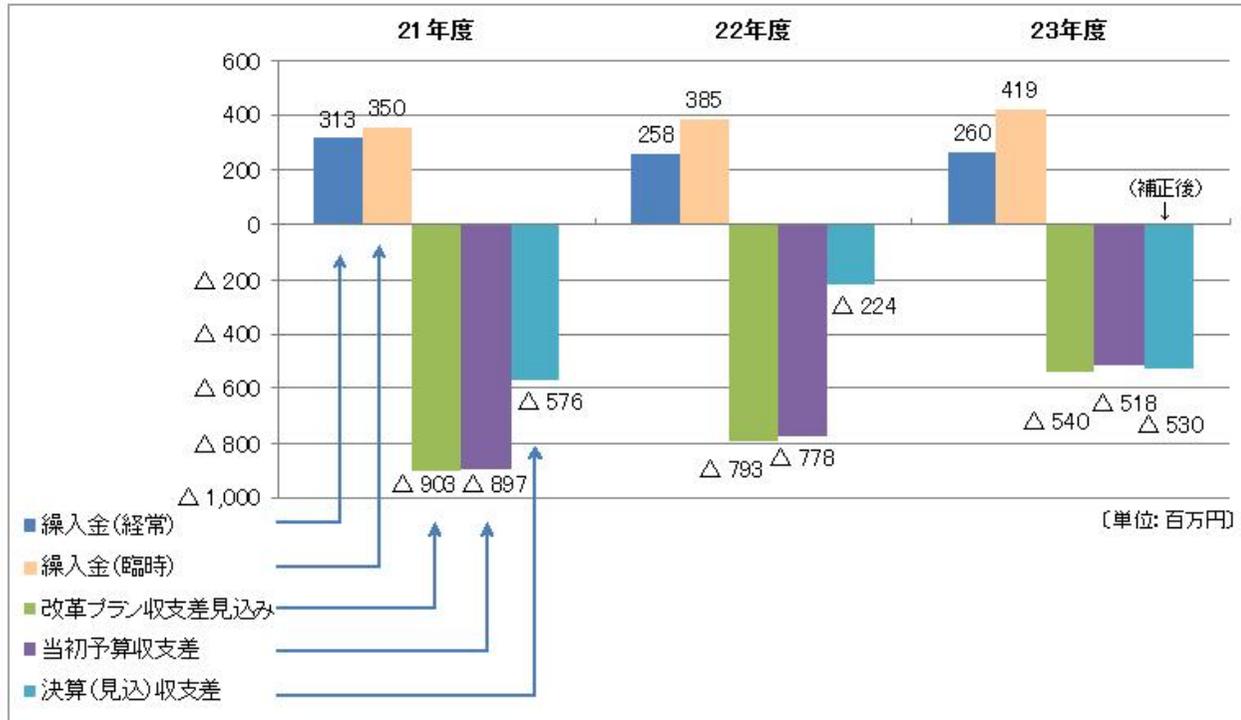
(単位:千円)

経営指標	豊中	吹田	池田
総収支	△480,539	172,803	△450,192
経常収支	△573,325	172,803	△484,708
医業収支	△779,440	△156,553	△291,415
繰入前収支	△1,880,711	△672,456	△993,798

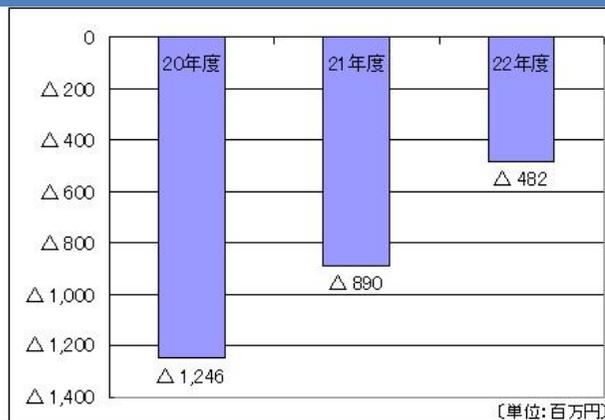
平成22年度決算の概要

2

収支差と一般会計繰入金の推移（改革プランと決算の比較）



一般会計繰入金を除いた実質的な収支差の推移



経営指標	H21	H22
延入院患者数	104,797人	106,613人
実退院患者数	7,170人	7,641人
外来患者数	173,042人	173,810人
病床稼働率	90.6%	92.1%
紹介患者数	6,552人	7,242人
紹介率	41.1%	48.5%
逆紹介患者数	11,623人	12,437人
逆紹介率	60.9%	69.9%
医業収支比率	93.0%	97.6%
人件費比率	53.3%	50.4%
入院診療単価	44,025円	47,186円
外来診療単価	11,348円	11,832円

※ 紹介率・逆紹介率は、地域医療支援病院紹介率・逆紹介率で算出

※ 医業収支比率＝医業収益／医業費用

※ 人件費比率＝給与費／医業収益

平成22年度決算の概要

3

前年度と比較した主な増減理由

収益の増減理由（増減額501）

単位:百万円

項目	増減額	増減理由
■入院収益	417	◆診療単価の増に伴う増(331) ◇地域医療支援病院の承認に伴う加算の増(22) ◇診療報酬改定に伴う新規算定項目の増(134) ◇診療報酬改定に伴う既存算定項目の増(DPC調整係数の変更含む)(103) ◇手術収入の増(104) ◆入院患者数の増(1,816人)に伴う増収(86) ◇内科(4,120人増)、耳鼻いんこう科(606人増) ◇外科(△1,720人減)、整形外科(△1,352人減)
■外来収益	91	◆診療単価の増に伴う増(84) ◇化学療法の推進等による注射収入の増(31) ◇入院前検査の充実等による検査収入の増(32) ◆外来患者数の増に伴う増収(7)
■一般会計繰入金	△55	◆ICT利活用モデル構築事業負担金(H22限定)の減 (△64)
■特別利益	36	◆大阪府市町村職員互助会の解散に伴う精算金

平成22年度決算の概要

4

費用の増減理由（増減額148）

単位：百万円

項目	増減額	増減理由
■給与費	65	◆医師、看護師の確保に伴う増(72) ◆こども手当の新設に伴う増(16) ◆法定福利費の負担率の変更等による増(37) ◆退職給与の減(△76)
■材料費	28	◆患者数の増に伴う薬品費の増(41) ◆診療材料購入業者の一元化による材料単価の減(△22)
■経費	11	◆設備の老朽化等による修繕費の増(37) ◆病理・放射線科医不足に伴う応援医等の報償費の増(7) ◆看護師不足に伴う派遣委託の増(11) ◆麻酔科医・看護師紹介等による手数料の増(6) ◆地域ICTモデル事業委託(H21限定)の減(△60)
■資産減耗費	51	◆血管造影装置等の高額機器の更新に伴う廃棄の増
■支払利息	△27	◆企業債の元利均等償還に伴う支払額の逡減

経営効率化に係る計画の実績

5

目標値と実績

項目	最終目標 (H30)	H23目標値 (H22目標)	H22実績	H23(H22)目標 の達成状況
■経常収支比率※	101.2%	93.8% (90.4)	96.8%	達成 (+6.4%)
■職員給与比率※	52.7%	55.2% (56.1)	50.4%	達成 (+5.7%)
■病床利用率※	95.0%	92.5% (93.0%)	92.1%	未達成 (△0.9%)
■紹介患者数	8,300人	7,600人	7,242人	未達成 (△358人)
(紹介率)	50.0%	46.3%	48.5%	達成 (+2.2%)
■逆紹介患者数	12,500人	11,800人	12,437人	達成 (+637人)
(逆紹介率)	65.0%	60.0%	69.9%	達成 (+9.9%)
■新規入院患者数	7,200人	7,100人	7,630人	達成 (+530人)

※経常収支比率、職員給与比率、病床利用率の目標値は、H23、H22当初予算時の目標値

経営効率化に係る計画の実績

6

主な取り組みの実施状況と成果

収益の増加

単位:百万円

取り組み内容	実施状況	成果(実績額)
■ 診療報酬の新規算定 ■ 医師確保に伴う受入患者の増 ■ 医療の質の向上による在院日数の短縮、及び病床回転率の向上	継続実施	◆ 地域医療支援病院の承認(22) ◆ 診療報酬改定に伴う新規算定(134) ◆ 入院患者数の増に伴う増収(86)
■ 鏡視下手術室・内視鏡センターの充実、透析センターの設置検討	一部実施	(H21鏡視下手術室・内視鏡センター整備済み)
■ フィルムレスの実施	実施済	(H21実施済)
■ 診療情報提供件数の増	継続実施	◆ 診療情報提供料の算定増(2)
■ 治験センターの設置	実施済	(H21設置済)
■ 駐車場の有料化	実施済	◆ 有料化及び行政財産の貸付による管理の導入(H22.12月)
■ 未収金の削減	継続実施	◆ 支払督促による法的手続きの実施(H23.1月)

経営効率化に係る計画の実績

7

主な取り組みの実施状況と成果

費用の削減

単位:百万円

取り組み内容	実施状況	成果(実績額)
■材料費の購入・管理方法の見直し	継続実施	◆診療材料の調達管理業務の一元化に伴う材料単価の減(△22)
■委託料・賃借料等の契約方法, 内容の見直し、光熱水費等の節約	継続実施	◆施設・設備の管理業務委託の一元化に向けた業者選定を実施
■回復期リハ病棟への看護補助職員の導入	未実施	(看護師確保状況等を見極めて検討)
■減価償却費の減	継続実施	◆H29の段階で自然減
■企業債償還利息の減	継続実施	◆H29の段階で自然減

経営効率化に係る計画の実績

8

主な取り組みの実施状況と成果

その他の取り組み

取り組み内容(目標額)	実施状況	成果(実績額)
■ 地域医療支援病院の承認	実施済	◆ 府知事から承認(H22.11月)
■ 病院給食及び食堂運営業者の一体化による患者給食の寝食分離の実現	実施済	(H21実施済)
■ 病院独自の人事給与制度の構築	継続実施	◆ 週4日勤務の常勤制度の創設 (H22.4月) ◆ 医師人事考課制度の構築 (H23.3月)
■ 病棟看護の二交代勤務制導入による看護職員の定着	継続実施	◆ 試行2病棟で本格実施(H22.4月) ◆ 2病棟追加の検討

経営効率化に係る計画の実績

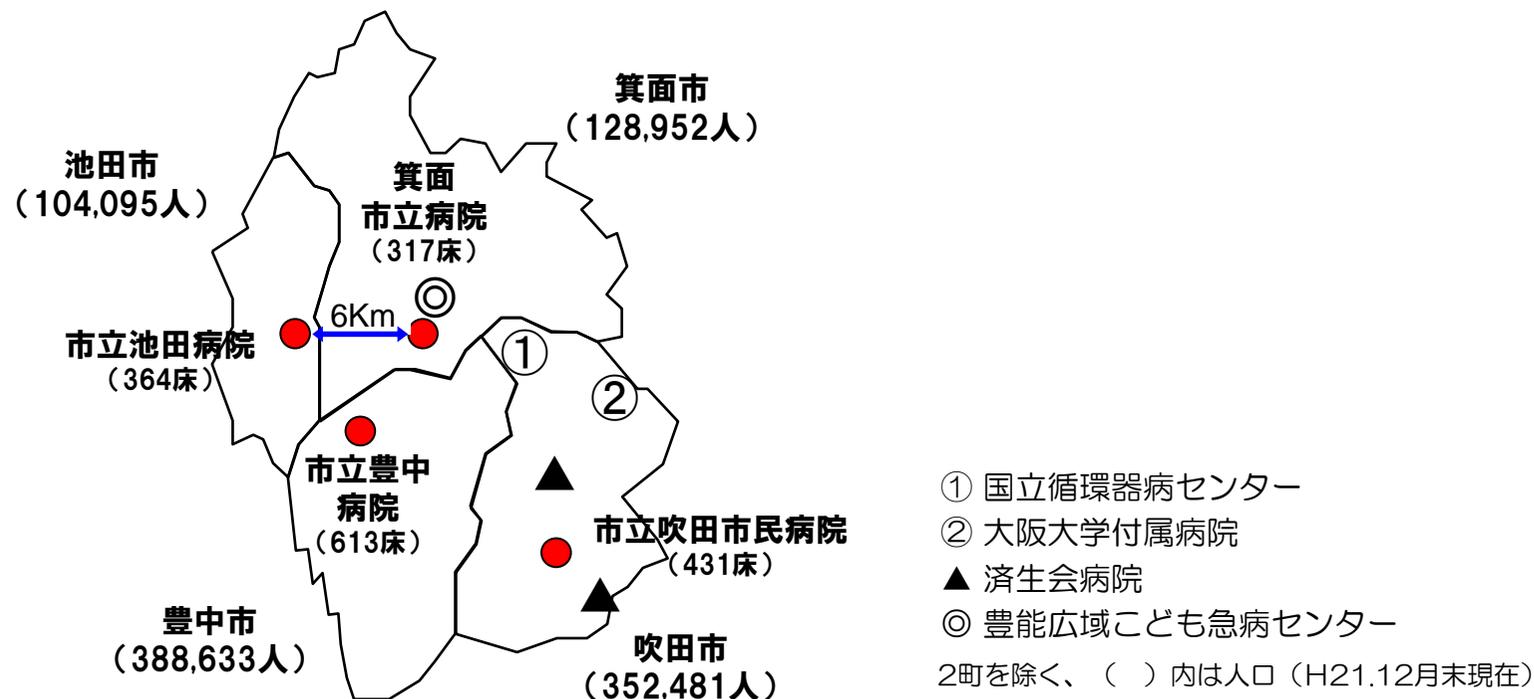
9

その他の取り組みの実施状況と成果

取り組み内容	実績
■内部組織の改編	◆がん診療推進部を設置(H22.4月)
■病院職員の独自採用	◆医師の積極的採用の推進、必要職員の定数内で随時採用 ◆病院専任事務職員の採用(H22:2名)
■定数条例の改正	◆定数条例の改正 419人→475人(H23.3月)

再編・ネットワーク化に係る計画の実績

取り組み内容	実績
<p>■ 北大阪5病院 病院長事務長 会議の開催</p>	<p>◆ 従来の豊能地域の4市立病院(豊中、池田、吹田、箕面)に加えて枚方市民病院の病院長及び事務局長による検討会を開催(2か月毎) ◆ 後期研修医を対象とした研修の共同実施</p>
<p>■ 北摂ハイブリッド後期研修プログラムの共同運用</p>	<p>◆ 後期研修医の臨床研修を共同実施 ◆ 自院で不足する症例等について、協力病院で研修を受けることで、専門医の受験資格を確保</p>



経営形態見直しに係る計画の実績

11

地方公営企業法全部適用への移行

取り組み内容	実績
■ 移行時期	(H21.6月移行)
■ 移行に伴う業務	(病院事業管理者を設置) (条例、規則、企業管理規程を制定)

地方公営企業法全部適用への移行による取り組み

取り組み内容	実績
■ 内部組織の改編(再掲)	◆ がん診療推進部を設置(H22.4月)
■ 病院職員の独自採用(再掲)	◆ 医師の積極的採用の推進、必要職員の定数内で随時採用 ◆ 病院専任事務職員の採用(H22:2名)
■ 定数条例の改正(再掲)	◆ 定数条例の改正 419人→475人(H23.3月)